

# バッテリーステーション

取扱説明書



5-048-993-03(1)

LBN-H1

## お使いになる前に

電源は必ず1000 W以上出力できることを確認してください。特に、ポータブル電源や発電機をご使用になる際はご注意ください。

## 付属品

電源コード (1)



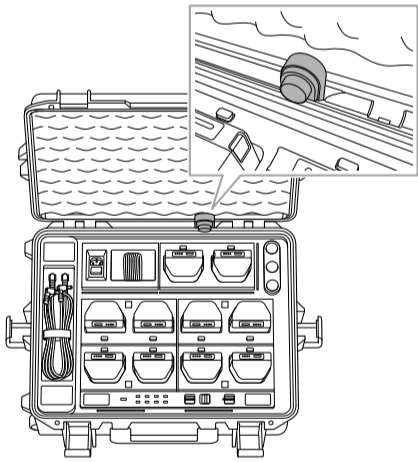
アクセサリソケット蓋 (3)



取扱説明書 (1)  
保証書 (1)

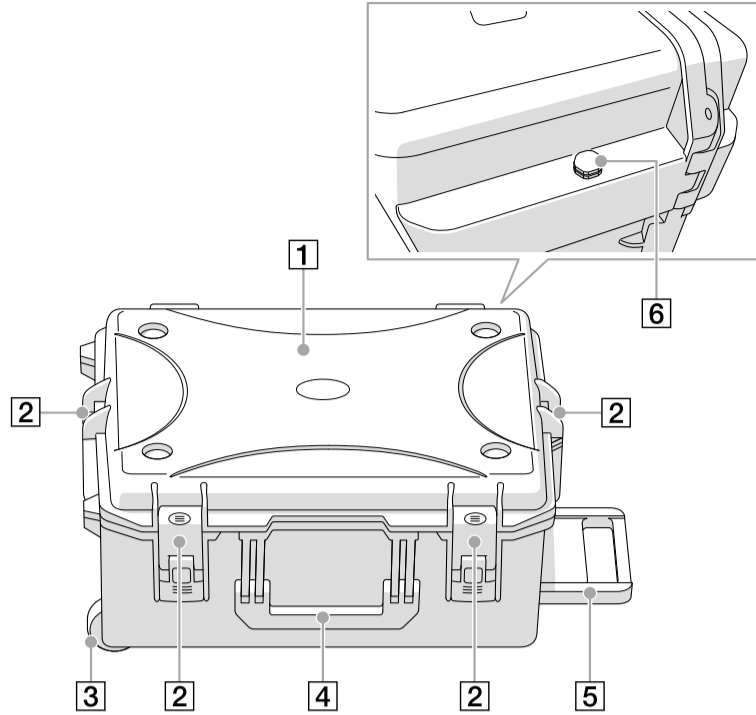
### アクセサリソケット蓋の使いかた

本機を使用中に、風などにより本体の上蓋が閉まるのを防ぐため、アクセサリソケット蓋をストッパーとして使用できます。



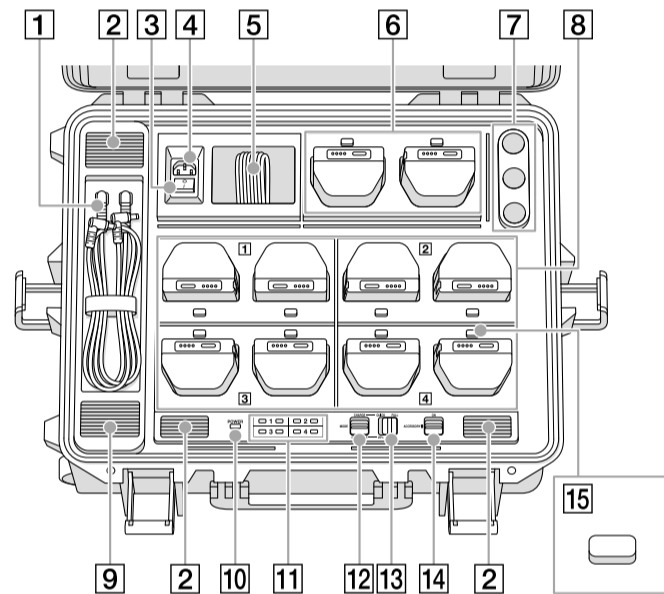
## 各部の名前

### 本体外側



- 1 上蓋
- 2 上蓋ロック
- 3 車輪
- 4 ハンドル
- 5 伸縮ハンドル
- 6 内圧調整バルブ  
バッテリーステーション内部の気圧は自動調整されます。内圧調整バルブには触れないでください。

### 本体内側



- 1 送信機専用充電ケーブル
- 2 通気口
- 3 電源スイッチ
- 4 電源ポート
- 5 収納ポケット
- 6 バッテリー保管用スロット
- 7 アクセサリソケット
- 8 バッテリースロット (バッテリー充電/放電用スロット)
- 9 排気口
- 10 電源LED

- 11 バッテリースタタスLED  
バッテリーステータスLEDは、バッテリーステータスLEDがオレンジ色に点灯していることを確認する。充電中はバッテリーステータスLEDがオレンジ色に点灯します。また、バッテリーパックのバッテリー残量LEDで充電容量が表示されます。

LEDの色	LEDの状態	バッテリーパックの状態
—	消灯	バッテリーパックが挿入されていません。
緑	点灯	充電が完了しています。
オレンジ	点灯	充電中です。
オレンジ	ゆっくり点滅	充電待機中です。上下に向かい合うスロットに挿入されたバッテリーパックの充電が完了すると、充電を開始します。
オレンジ	2回ずつ速く点滅	バッテリーパックの温度が高いため充電できません。
オレンジ	3回ずつ速く点滅	バッテリーパックの温度が低いため充電できません。
青	点灯	放電が完了しています。
紫	点灯	放電中です。
紫	2回ずつ速く点滅	バッテリーパックの温度が高いため放電できません。
赤	ゆっくり点滅	バッテリーパックの異常により、充電/放電できません。

- 12 MODE (モード)スイッチ  
バッテリーパックの充電(CHARGE) / 放電(DISCHARGE)を切り替えます。
- 13 OPTION (オプション)スイッチ  
充電/放電の際のレベルを設定します。
  - 充電する場合(MODE (モード)スイッチがCHARGEのとき)：充電レベル(FULLまたはQUICK)を選択します。
  - 放電する場合(MODE (モード)スイッチがDISCHARGEのとき)：放電レベル(50%または25%)を選択します。
- 14 ACCESSORY (アクセサリ)スイッチ  
送信機専用充電ケーブルとアクセサリソケットからの給電オン/オフを切り替えます。
- 15 バッテリーリリースボタン  
ボタンを押しながらバッテリーパックを取り出します。

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)

### Airpeakお問い合わせ窓口

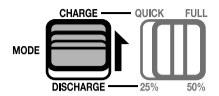
フリーダイヤル……………0120-442-280  
携帯電話・一部のIP電話……………050-3754-9019

ソニーウェブサイト <https://www.sony.jp/airpeak/>

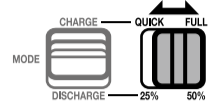
ソニーグループ株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

## バッテリーパックを充電する

- 1 MODE (モード)スイッチをCHARGEの位置にスライドする。



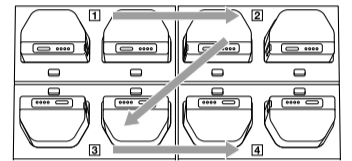
- 2 OPTION (オプション)スイッチをFULLまたはQUICKの位置にスライドして充電レベルを選ぶ。



- FULL (満充電)：バッテリー残量が100%になるまで充電します。
- QUICK (実用充電)：バッテリー残量が90%になるまで充電します。FULLより充電時間を短縮できます。

- 3 電源コードを電源ポートとコンセントに接続し、電源スイッチをオンにする。

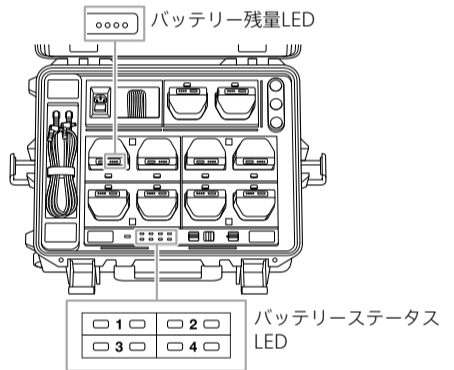
- 4 充電したいバッテリーパックをバッテリーステータスLEDがオレンジ色に点灯していることを確認する。



「カチッ」と音がしてロックがかかるまでしっかり挿入してください。

- 5 バッテリースタタスLEDがオレンジ色に点灯していることを確認する。

充電中はバッテリーステータスLEDがオレンジ色に点灯します。また、バッテリーパックのバッテリー残量LEDで充電容量が表示されます。



- 6 バッテリーパックの充電状態を確認する。

充電中は、バッテリーパックのバッテリー残量LEDで充電レベルを確認することができます。

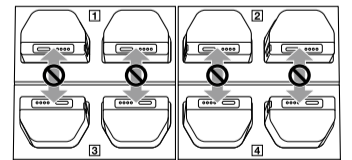
### バッテリー残量

- 0 ~ 25%：左端が点滅
- 26 ~ 50%：左から2番目が点滅
- 51 ~ 75%：左から3番目が点滅
- 76 ~ 99%：右端が点滅
- 充電完了：すべて消灯

- 7 充電が完了したら、バッテリーリリースボタンを押しながらバッテリーパックを取り出す。

### バッテリー充電のメカニズムについて

- 上下に向かい合うバッテリーステータスLEDがオレンジ色に点灯していることを確認してから充電を開始します。
- 飛行直後などバッテリーパックの温度が高い場合、保護機能により充電は開始されません。バッテリーステータスLEDがオレンジ色で2回ずつの速い点滅を繰り返す、冷却ファンが自動的に作動します。充電可能な温度までバッテリーパックが冷却されると、充電を開始します。

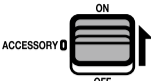


- バッテリーパックは、最大4本まで同時に充電できません。
- バッテリースロットにバッテリーパックを挿入した状態で電源を入れると、スロット1、2から充電が始まります。
- 飛行直後などバッテリーパックの温度が高い場合、保護機能により充電は開始されません。バッテリーステータスLEDがオレンジ色で2回ずつの速い点滅を繰り返す、冷却ファンが自動的に作動します。充電可能な温度までバッテリーパックが冷却されると、充電を開始します。

## 送信機を充電する

送信機専用充電ケーブル(RCR-VH1用)を使用し、同時に2台の送信機を充電できます。

- 電源コードを電源ポートとコンセントに接続し、電源スイッチをオンにする。
- ACCESSORY（アクセサリ）スイッチをONの位置にスライドする。

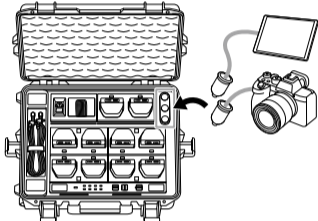


- 送信機専用充電ケーブルを送信機の電源端子に接続する。充電が始まります。送信機の(電源)ボタンを押すと、バッテリー残量を確認できます。

## 周辺機器を充電する

市販のシガーソケット用充電器(12 V)をアクセサリソケットに接続して、モバイルデバイスやカメラなどを充電できます。

- 電源コードを電源ポートとコンセントに接続し、電源スイッチをオンにする。
- ACCESSORY（アクセサリ）スイッチをONの位置にスライドする。
- シガーソケット用充電器を使って、充電したい機器をアクセサリソケットに接続する。



充電が始まります。

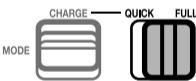
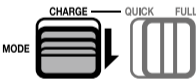
### ご注意

- アクセサリソケットは、50 W以上の出力には対応していません。

## バッテリーパックを放電する

本機の電源がオン／オフの状態に関わらず、どちらの状態でもバッテリーパックを放電できます。本機の電源がオンの状態で放電すると、電源オフの状態よりも、設定値(25%、50%)に近い値で放電できます。

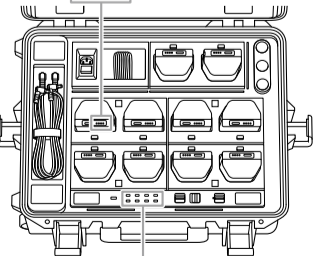
- 本機の電源をオンにして放電する場合は、電源コードを電源ポートとコンセントに接続し、電源スイッチをオンにする。
- MODE(モード)スイッチをDISCHARGEの位置にスライドする。
- OPTION(オプション)スイッチを25%または50%の位置にスライドして放電レベルを選ぶ。



- 50%：バッテリー残量が50%以下になるまで放電します。バッテリーパックを長期保管する場合に適した設定です。
- 25%：バッテリー残量が25%以下になるまで放電します。航空機で輸送する場合に適した設定です。

- 放電したいバッテリーパックをバッテリースロットに挿入する。8つのバッテリースロットすべて同時に放電できます。放電中はバッテリーステータスLEDが紫に点灯します。放電が完了すると青に点灯します。放電時はバッテリー残量LEDは点滅しません。

バッテリー残量LED



バッテリーステータスLED

### ご注意

- 放電時バッテリーパックの残量が手順3で設定した値以下の場合は、放電しません。

## 使用上のご注意

### 電源コードについて

- 付属の電源コードはAC100 V用です。
- 接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

### 充電について

- 充電を開始するまで20秒程度かかる場合があります。
- バッテリーパックの温度が高い場合や低い場合には、保護機能により充電は開始されません。バッテリーパックが充電可能な温度になると、自動的に充電が始まります。
- いつまでも充電が開始しない場合は、一度、バッテリーパックを取り出して電源を切り、電源コードを抜いて、再度接続し直してください。
- 充電中、バッテリーパックの温度が高くなっている場合、バッテリースロットから取り出して再度入れたり電源を入れなおしたりして中断するとすぐに充電を再開できないことがあります。その場合、バッテリーパックが充電可能な温度に下がるまでお待ちください。自動的に充電が再開されます。

### 発熱についてのご注意

- 充電中に本体や電源コードが熱くなることがありますが、動作上問題はありません。
- バッテリーパックや本体が普段よりも異常に熱くなった時は故障が考えられます。まず、バッテリーパックを取り出して電源を切り、電源コードを抜いて使用を中止してください。次に、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。
- 排気口からは高温の風が排出されます。物や手などを排気口に近づけないでください。
- 通気口や排気口を塞がないでください。

### 持ち運びについてのご注意

- 本機は非常に重いため、持ち運びの際は十分注意してください。本機が落下すると、本機の破損やけがの原因になります。

### 指挟みについてのご注意

- 強風や振動などによって上蓋が閉まり、本機の破損やけがの原因になることがあります。上蓋を開けた後は、必ず上蓋を固定してください。使いかたについて詳しくは、「アクセサリソケット蓋の使いかた」をご参照ください。

### 使用環境について

- 直射日光の当たるところや高温環境下でのご使用は避けてください。
- 上蓋を完全に開けた状態でご使用ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、製品の表面や内部に結露が起きることがあります。そのままご使用になると、故障の原因となります。結露が起きたときは、電源を入れずに乾くまで放置してください。
- 本機は平らな場所で、水平に置いて使用してください。
- 本機にバッテリーパックを入れた状態で保管、輸送する際はバッテリーパックの保管温度範囲(-20℃～45℃)を超えないようご注意ください。バッテリーパックの保管温度範囲外での使用は、バッテリーパックの性能が維持できなくなり、使用上支障が出ます。

## 主な仕様

### 型式

LBN-H1

### 寸法

約553 mm×423 mm×258 mm（高さ×幅×奥行き、突起部含む）

### 質量

約15.2 kg（バッテリーパックや電源コードなど含まず）

### 対応バッテリーパック

LBP-HS1、LBP-HM1

### 充電／放電用バッテリースロット

2スロット×4グループ

### 充電用出力定格

最大42 V、4 A

### 充電時間

（最大4スロット同時充電対応）

- バッテリーパック LBP-HS1
  - FULL（0%から100%まで）：約55分／個
  - FULL（20%から100%まで）：約50分／個
  - QUICK（20%から90%まで）：約30分／個

バッテリーパック LBP-HM1

- FULL（0%から100%まで）：約75分／個
- FULL（20%から100%まで）：約65分／個
- QUICK（20%から90%まで）：約40分／個

**1個目の充電完了から2個目の充電開始までの時間**  
約30秒

### 放電時間

（最大8スロット同時放電対応）

バッテリーパック LBP-HS1

- 50%（100%から50%まで）：約17時間／個
- 25%（100%から25%まで）：約27時間／個

バッテリーパック LBP-HM1

- 50%（100%から50%まで）：約26時間／個
- 25%（100%から25%まで）：約40時間／個

### 最大消費電力

1 000 W

### 動作環境温度

0℃～40℃

### 保管／輸送時温度

バッテリー非装着時：-20℃～60℃  
バッテリー装着時：-20℃～45℃

### アクセサリソケット出力

各ポート12.7 V、最大4.5 A  
3ポート合計5 A

### 送信機専用充電出力

各ポート14 V、最大2.6 A

「JIS C 61000-3-2適合品」です。本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### 警告：

本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

## 安全のために

### 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、製品を破損したら

- バッテリーパックを取り出す。
- 電源コードを抜き、本機に接続している機器をすべて外す。
- お買い上げ店またはソニーの相談窓口に連絡する。

### 警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



### 行為を禁止する記号



### 行為を指示する記号



**警告** 下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

### 電源コードを傷つけない

- 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 本機の上蓋で挟み込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

### 移動させるときは、電源コードを抜く

接続したまま移動させると電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。また、本機を落とさないようご注意ください。

### 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所で使用／保管しない

上記のような場所で使用したり、上記のような場所で保管したりすると、火災や感電の原因となります。本書に記載されている使用条件以外の環境でのご使用や保管は、火災や感電の原因となることがあります。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにバッテリーパックを取り出し、電源コードを抜いてください。

### 内部をむやみに開けない

本機および付属の電源コードを、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

### 落雷のおそれがあるときは使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために、電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

### 対応のバッテリーパック以外は使用しない

バッテリーパックは本機に対応したものをご使用ください。対応のバッテリーパック以外を使うと、火災や感電の原因になります。

### ぬれた手で操作しない

感電の原因になります。

### ぬれた手で電源プラグに触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になります。

### 急激な温度変化

急激な温度・湿度変化により本機が結露すると、火災や感電の原因となります。

### 振動がある環境で使用／保管しない

振動がある環境で使用したり保管したりすると、火災や感電の原因となります。本書に記載されている使用条件以外の環境での使用や保管は、火災や感電の原因となります。

### 付属の電源コードを使う

付属の電源コードは本機のみでご使用いただく専用品です。他の製品ではご使用になれません。また、付属の電源コード以外は本機にはご使用にならないでください。発熱により火災・感電の原因となることがあります。

### 本機や電源コードを布などでおおった状態で使用しない

熱がこもって本体が変形したり、故障や火災の原因となることがあります。

### お手入れの際は電源プラグを抜き、接続しているすべての機器を外す

電源プラグや、本機に接続している機器などはすべて外してください。接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

### 端子はきちんと接続する

- 接続端子の近くに金属片を入れないでください。端子と端子がショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んで接続してください。差し込む際に無理な力を加えないでください。

### 本機は日本国内専用です

- 交流100 Vでお使いください。
- 海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- 電源コードを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

**警告** 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 本機に強い衝撃を与えない

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。また、運搬時にハンドルが抜けて落下し怪我する可能性があるため、ハンドルを無理に引っ張ったりしないでください。

### 子供がいない場所で使用／保管する

本機を誤って触ったり、ケーブルを首に巻きつけたりすると、事故やけがの原因となります。

### 排気口の風注意

排気口からは高温の風が排出されます。物や手などを排気口に近づけないでください。事故やけがの原因になります。

### 顔を排気口に近づけない

排気口からの風で異物が飛ぶことがあるので、目に入るなどの事故やけがの原因となります。

### 不安定な場所に設置しない

椅子やベンチなど不安定な場所に設置すると、落下による事故やけがの原因となります。

### 電源コードの引っかけに注意

電源コードを引っかけて本体を落下させないようにご注意ください。事故やけがの原因となります。

### スイッチ操作時の指はさみに注意

スイッチを切り替える際、スイッチ間の隙間に指を挟まないようご注意ください。